

STEP 03 テスト

- ✓ お客様の実際の環境で、他拠点とご利用のWeb会議アプリケーションで接続してテストされることをおすすめいたします。
- ✓ ご利用になるスピーカーフォンのマイク性能は、“対向側（通話相手側）”の拠点にて確認できます。マイク/スピーカー双方の音声をご確認ください。テストされる両拠点にてヤマハ製品をご用意いただくことをおすすめいたします。

対向先の拠点とテスト!

マイク

遠隔会議用スピーカーフォン利用拠点側の声が普通の聞こえ方とどう違うか、通話先の拠点で評価していただけてください。

スピーカー

通話先の声が普通の聞こえ方とどう違うか、遠隔会議用スピーカーフォン利用拠点で評価してください。

CAUTION!

- YVC-1000:マイクとスピーカーを少なくとも1m以上離してください
- 会議中はマイクに触れない
- プロジェクター、PCなど、ノイズの発生源の近くに置かない
- 話者と遠隔会議用スピーカーフォンの間に遮蔽物を置かない

CONFIRM

- Web会議アプリケーションはスピーカーフォンとPC/Macを接続した後に起動してください。
- 起動後にOS/Web会議アプリケーションのデバイス設定にてスピーカーフォンを選択してください。

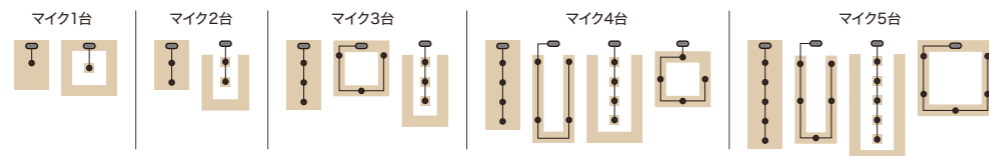
Device setting	
Microphone	Yamaha YVC-200
Speaker	Yamaha YVC-200

さらに快適なご利用の為に...

For YVC-1000 ご存知ですか?

YVC-1000の「自動音響調整機能」を使うと、空間の音響特性・マイクおよびスピーカーの設置位置などの音響状態を自動で測定、音響設定を使用環境に合わせてさらに最適な状態に調整します。音叉ボタンを2秒以上押し、音声ガイダンスに従ってください。

どんなテーブルレイアウトでも自由自在!



サポートについての詳細情報はこちら：<https://sound-solution.yamaha.com/support/uc/>



YVCシリーズ 導入ガイド



YVC-200
YVC-330/YVC-331
YVC-1000

3ステップで性能を確認!

STEP 01 設置

STEP 02 接続

STEP 03 テスト

01

STEP

設置

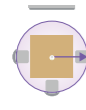
↓ 検証機を机の上にレイアウトしてください

YVC-200

1~4人



リモートワーク
小規模ミーティングルーム



最大2m

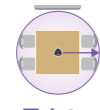
YVC-330/YVC-331

4~10人



SoundCap オン ← SoundCap オフ

オープンな
打ち合わせスペース

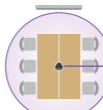


最大1m

SoundCapとは?

騒がしい環境下でも快適な遠隔コミュニケーションを実現するヤマハの音声技術です。

中規模
ミーティングルーム

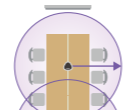


最大3m

+
2台接続



中~大規模
ミーティングルーム



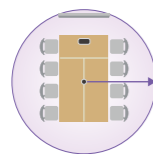
最大3m/1台

YVC-1000

8~30人



中~大規模 ミーティングルーム

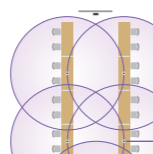
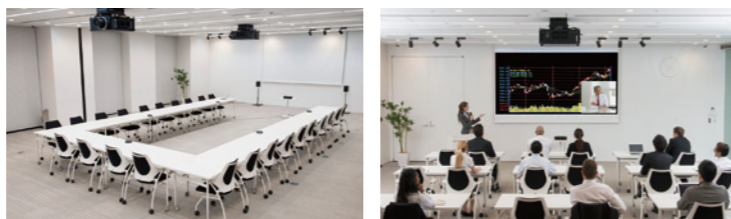


最大5m

+
拡張マイク



研修室



最大5m/1台

02

STEP

接続



🔌 電源を入れてください

🔋 バッテリー



電源ボタンを長押し

🔌 USBバスパワー



USBケーブルでPC/Macに接続、またはUSB
ケーブルでACアダプター(オプション)に接続

🔌 電源ケーブル/ACアダプター

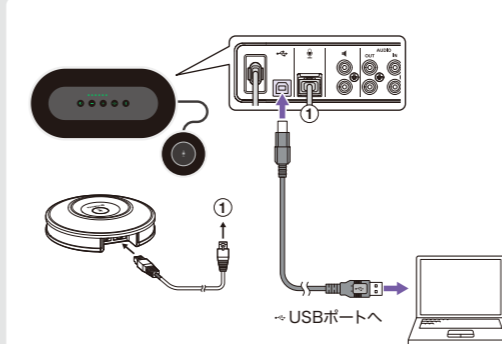
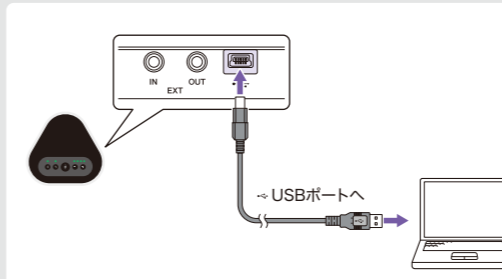
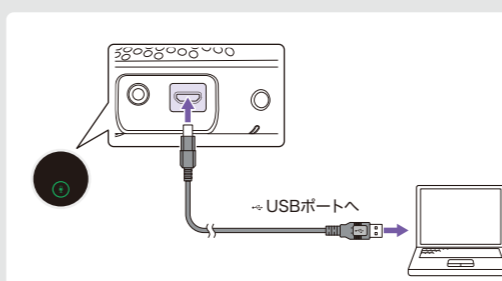


電源ケーブルでAC100V電源に接続

🔌 PC/MacとUSBケーブルで
つないでください

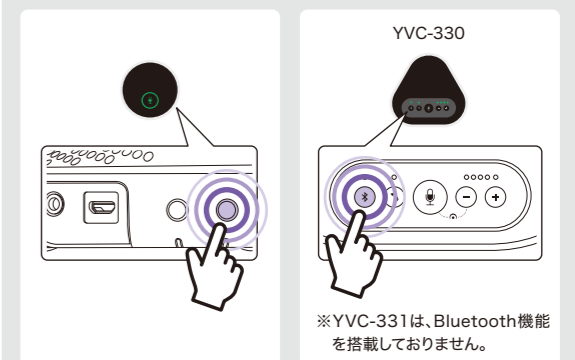
OR

📶 モバイル端末とBluetoothで
つないでください

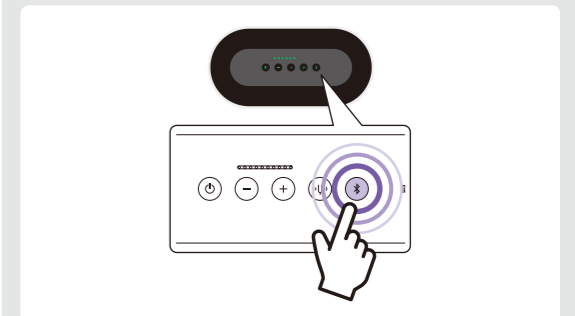


YVC-1000 本体とマイクの“OUT”を接続してください。
拡張マイク複数連結時は、マイクケーブルとマイクの出力
端子 (OUT) のラベルの色を合わせて接続ください。

Bluetoothボタン📶を2秒以上押し続けて
ください



※YVC-331は、Bluetooth機能を
搭載していません。



- モバイル端末のBluetoothを有効に
- ヤマハ製品とペアリング
- パスキーを求められた場合は「0000」を入力

